

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-2 地域福祉の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	地域福祉課長 石橋 達也	電話番号	0852-22-5349
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	しまね流福祉のまちづくり推進事業		
目的	(1) 対象	地域において支え合いや見守りが必要な住民	
	(2) 意図	住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、行政、住民組織、NPO等が協働する地域の支え合いの仕組みをつくる。	
事業概要	全市町村に地域支え合い体制づくりを推進する自治会区活動支援チームを結成し、支え合い活動組織の立ち上げや活動充実のための支援を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	地域	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
				式・定義	小地域福祉活動組織の設置数（累計）	目標値	1,866	2,810	
			達成率		119.60	123.60	100.20		%
指標名	式・定義	地域	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
				目標値	0.00	0.00			
			達成率	0.00	0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	8,882	6,212
うち一般財源(千円)	3,096	3,175

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○17団体で新たな活動組織の立ち上げがみられた。
 ○各市町村社協が活動団体の優良事例等について情報交換することを目的として県社協に構築した活動団体データベースシステムは運用開始に向けて作業中である。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

H26年度には329の活動組織が立ち上がった。県内の全自治会・町内会6,144のうち57.6%に活動組織が存在している。
 19団体のうち6団体で活動組織の立ち上げ率が100%に達した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
活動組織立ち上げ後、地域福祉課題解決に向けた取り組みが低調である。
活動団体データベースシステムの運用開始が遅れている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
各団体により取組状況に差がある。
活動データの入力内容が不十分である。
- ③原因を解消するための「課題」
市町村社協の取組に対する継続した支援。
市町村社協の活動データ入力に対する理解。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

活動組織立ち上げ率が100%に達している団体については、活動内容充実に向けた支援を検討していく。
 地域福祉課題解決に向けた取り組み支援について検討する。
 県社協や市町村社協と連携し、引き続き現場のニーズや活動実態の把握に努める。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）